

やっかん通信



Vol. 17

三世代が安心して暮らせる街づくり

日頃より後援会への御支援、御理解を頂き誠に有難う御座います。
 6月議会第2回定例議会が開会され、一般質問を行いました。
 宇佐市内で通学される子ども達の安心・安全な通学路の整備や防犯対策等について早急な対応をお願いしました。又、宇佐市UIターン奨学金返還支援制度について、奨学金返済で本当に困っている若者達がしっかり優遇される様、要件の見直しについて質問させて頂きました。全てが実現する事は中々困難では有りますが今後も全力を尽くし、精一杯頑張ってお参りますのでどうぞ宜しくお願い致します。



m(_ _)m

・諸活動報告!

<式典出席>



6/10 富貴野の滝「安全祈願祭」に出席し、神楽で餅まきをさせて頂きました。
 富貴野の滝は落差 65m。「宇佐の三滝」とも呼ばれています。

<市政報告会>



6/3 福岡地協地域役員セミナーでお時間を頂き、活動報告をさせて頂きました。終了後に磯崎参議院議員、常広議員、千木良議員と新型リーフの前で1枚。



<ボランティア活動>



由布市にて日産労連 NPO センター主催 チャリティきやらばんに参加させて頂きました。この福祉活動は日産労連の組合員が毎月 100 円づつ積み立した資金で実施されるイベントです。



<清掃活動>



6/9 天津海岸で「ふるさとクリーン作戦」に参加しました。保育園児から中学生迄の子ども達、天津地域づくり協議会の皆さん、300人以上で清掃活動を行い、アツと言う間に綺麗になりました。

<道路の凸凹見直し>



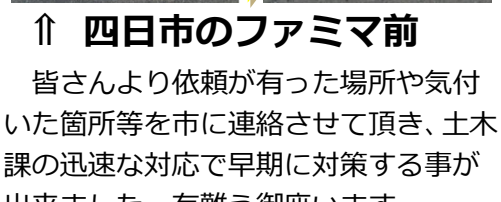
↑ 上田地区の市道



↑ 市役所前の市道

↑ 乙女地区の市道

<危険個所のポール設置>



↑ 四日市のファミマ前

皆さんより依頼があった場所や気付いた箇所等を市に連絡させて頂き、土木課の迅速な対応で早期に対策する事が出来ました。有難う御座います。

< 6月一般質問概要 >

～通学路の安全確保を！！～

I ・ 子どもの通院医療費無料化について

地域医療を守り早期実現に向け、慎重に検討して頂くと共に子育て世代の負担低減を望みます。

- ① 隣市無料化による市内医師の負担はどのように聞いているか

<答弁> 現状ではあまり変化はない

- ② 小児科救急医療体制の安定的な運営、早期実現に向けた取り組みは

<答弁> 中津小児救急センターは近隣の医師や大学病院の協力のもと運営されており、関係機関の御意見も聞きながら中津市と協議をおこなっている。

II ・ 通学路の防犯危険個所について

新潟市で小学2年生の女子児童が殺害された無惨な事件が発生しました。子育てする親からして見れば他人事では無く、宇佐市に於いてもいつ発生するか解りません。通学路における早急な対応が必要だと考えます。

- ① 市内の防犯危険個所は把握出来ているか

<答弁> 宇佐警察署、関係課、関係機関等との合同点検を6月に実施し、現状把握及び対応策について協議する予定です。

- ② 小学生を守る防犯カメラ設置等は検討されているか

<答弁> 全国の自治体例等を参考に調査研究してまいります。

- ③ ボランティアによる「子ども見守り」は把握されているか

<答弁> 市民団体が自主的に行う地域安全防犯パトロール隊が8隊ある。

III ・ ドライブレコーダー「動く防犯カメラ」について

ドライブレコーダーで市内「動く防犯カメラ」の普及促進にチカラを入れて頂き、更なる安心、安全な街へとアピールして行きたいと考えています

- ① 公用車の設置率は

<答弁> 全体として青パトを含む22台の車両が設置しており約12%の設置率であり、車両更新時に順次設置し、設置率の向上に努める。

- ② ドライブレコーダー購入時の補助はできないか

<答弁> 現時点では制度の創設は考えていない。

IV ・ 奨学金返還支援事業について

「宇佐市に戻って働く、又は県外から宇佐市に来て働いてもらうと奨学金返還を補助します」という事業であり、目的は企業の人材不足の解消と定住を促進する事です。又一般的に言われている「年収300万円以下の人」低所得者の支援でないと考えますので給与の収入制限の大幅に見直し、もしくは撤廃を望みます。

- ① これまで補助金交付を受けた人数は

<答弁> 平成28年度は5名、平成29年度は6名が対象となり、交付している。

- ② 要件の中に給与の収入制限があるが見直し出来ないか

<答弁> 周知の面も含めて要件の緩和について調査研究していく。

V ・ 農業トレーニングセンター(興農綱五郎会館)について

- ① 避難所として早期実現を望む声があるが市の考えは

<答弁> 災害時における避難所として重要な防災施設として位置付けられているが建築後40年が経過し老朽化や耐震の脆弱性から早期に施設整備を行うことが必要と考えている。

- ② 現在の協議内容はどの様に進んでいるのか。

<答弁> 交流機能・憩いの機能・防災拠点機能を併せ持つコミュニティセンターへの建替えという基本方針が示され、市に提出されました。

